

歴史資料収蔵館ミニ収蔵品展 「海老名町と有馬村 合併70周年」

図教育総務課 ☎046(235)4925

昭和30(1955)年7月20日に海老名町と有馬村が合併し、新しい海老名町が誕生しました。当時の様子が読み取れる公文書などの資料を展示します。



案内ページ

期 7月18日(金)～9月28日(日)(休館日除く)
内 「昭和30年海老名町議会議決書及会議録」「昭和30年度有馬村役場議会議決書綴」「当時の公印」などの展示
費 無料



合併に関連する公文書簿冊



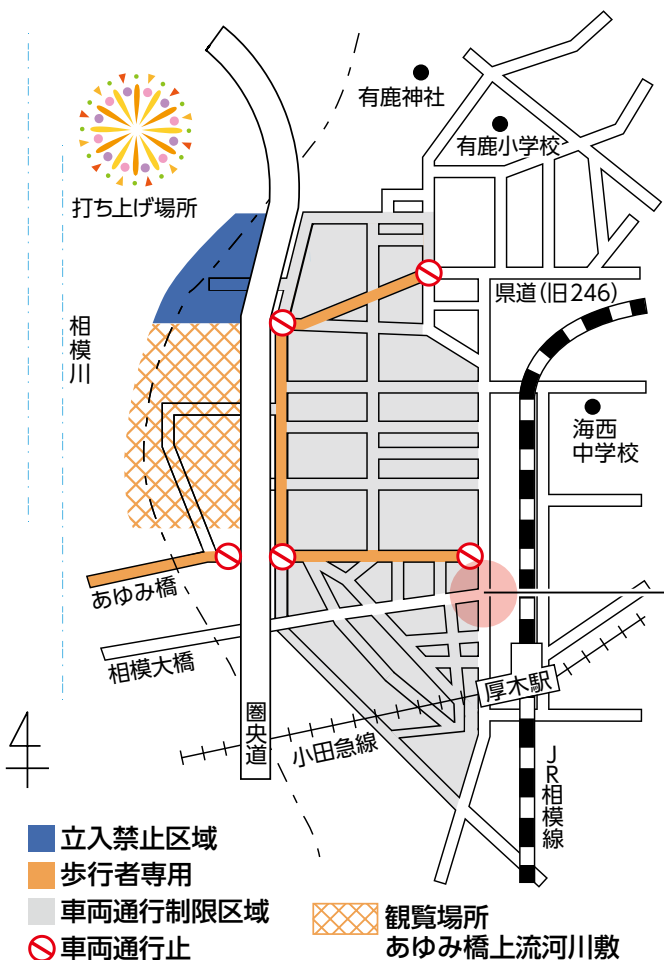
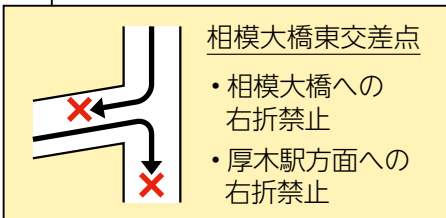
海老名町初代町議会議員(個人蔵)



「あつぎ鮎まつり大花火大会」に伴う 交通規制

図あつぎ鮎まつり実行委員会 ☎080(2912)1093

8月2日(土)17時～21時30分、「あつぎ鮎まつり大花火大会」の開催に伴い、河原口と中新田地域の一部と相模大橋東交差点で交通規制します。公共交通機関を利用するなど、ご協力をお願いします。



健康やかいびな

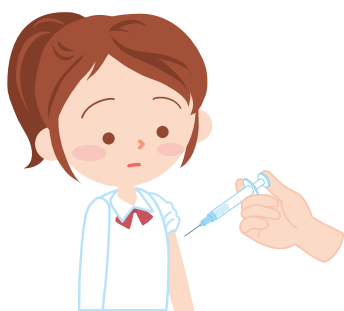
君たちはHPVワクチンを知っていますか。HPVとは、ヒューマンパピローマウイルスといって、女子の子宮頸がん(子宮の入り口)にできるがんの原因になるウイルスといわれています。ワクチンは、ウイルスの感染を防いで、がんから命をまもるために必要です。小学六年生から高校一年生までが公費(無料)で接種を受けられます。年齢により六ヶ月間に二回または三回筋肉内注射をします。以前、副反応が問題になりましたが、今は安全性が確認されています。君たちも、予防接種についてご家族と話し合ってください。分からないことがあったら、かかりつけのお医者さんや、市役所の保健師さんに相談してみてください。ご家族のみなさま。大切な

小六から高一の 君たちへ



海老名中央医院
内山喜一郎

お子様のことです。ぜひ一緒に考えてください。外国では、将来パートナーとなる男子にも接種が勧められています。日本では、公費助成制度がまだ一部の自治体にしかありません。



このコーナーは、海老名市医師会が健康をテーマにした情報を提供します。次回は10月15日号に掲載予定。

シニアから始める 健康づくりへの取り組みに

図地域包括ケア推進課 ☎046(235)4950

高齢者生きがい教室 「パソコン教室」(全5回)

ワードとエクセルの基本操作を学びます。パソコンは用意します。

期 8月20日(水)～24日(日)
時 【Aコース】10時～12時 【Bコース】13時～15時

場 第一高齢者生きがい会館

市内在住の60歳以上で、全5回参加できる方

定 各コース8人

講 高橋貴美子氏(パソコンインストラクター)

申 電話・ファクスまたはメールで海老名市シルバー人材センター ☎046・237・3001

046・238・0071

E ebina@sjc.ne.jp)へ。ファクス・メールの場合は教室名・コース名・住所・氏名(ふりがな)・年齢・電話番号を記載。7月30日(水)締め切り

水中パワーウォーク教室 (全6回)

水中器具を使ったウォーキングで心と体のパワーアップを目指します。

日 9月3日～10月8日の毎週(水)
時 13時30分～15時

場 高座施設組合屋内温水プール(本郷20・1)

市内在住の65歳以上で、全6回参加できる方

定 20人

申 電話で地域包括ケア推進課へ。8月7日(木)締め切り

他 初めての方優先



共通事項

費 無料 他 応募多数の場合は抽選

